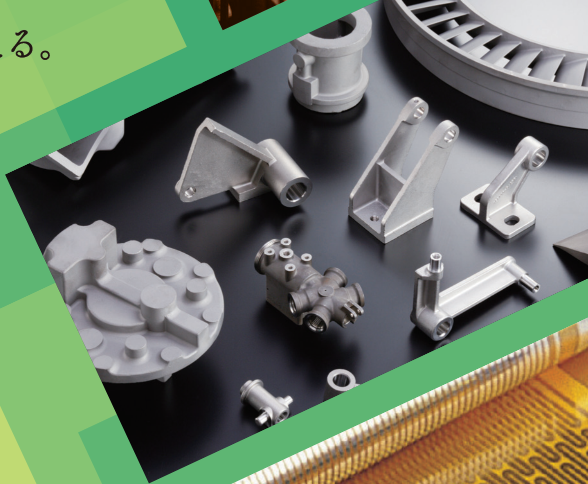
証券コード：5953

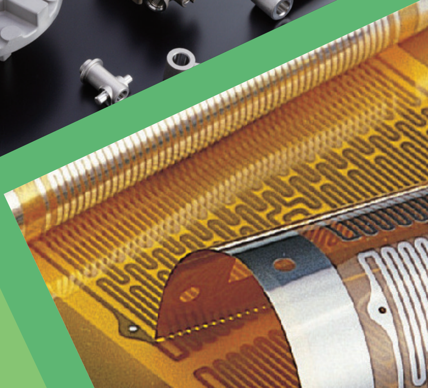
第102期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。





昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

また、令和6年能登半島地震により被災された皆様には、心からお見舞い申しあげますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申しあげます。

さて、当社グループは2024年3月31日をもちまして、第102期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申しあげます。

2024年6月

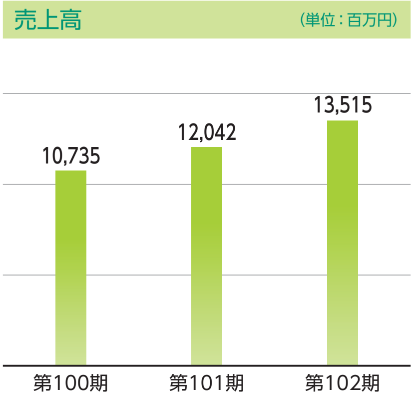
代表取締役社長　日野宏昭

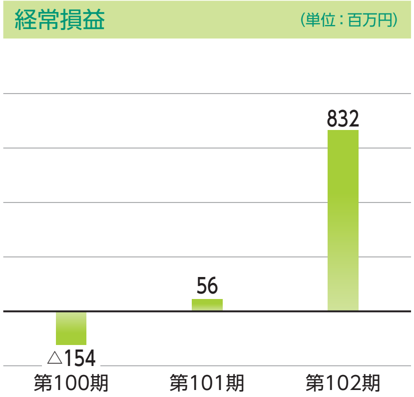
中期経営計画「人財戦略・事業一翼を担おう！」のもと、直面

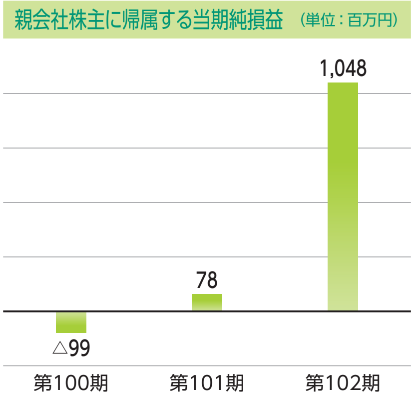
Q 第102期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、社会経済活動が正常化に向かうとともに緩やかな持ち直しの動きが見られる一方で、原材料価格の高止まりや不安定な為替相場等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における新中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう！」の初年度として、2023年度は







戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への
する社会や環境の様々な課題に注力してまいります。

連結売上高127億円、連結売上高営業利益率2.1%の達成を目指し、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。

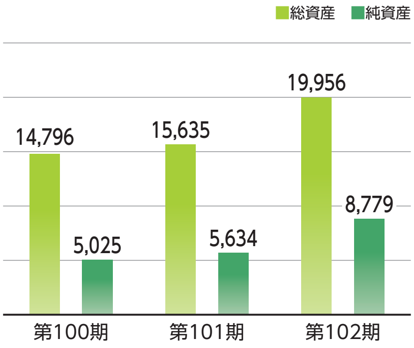
Q 第102期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は135億1千5百万円(前連結会計年度比12.2%増)、受注高につきましては139億4千6百万円(同比6.2%増)となりました。

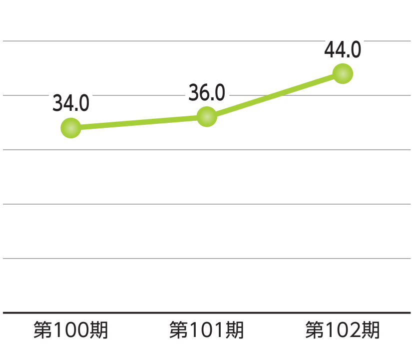
損益面では、売上高の増加に加えて、原材料価格の高騰に対応した適正な売価の設定や製造工程の見直しによる原価低減等により、経常利益は8億3千2百万円(前連結会計年度比1,369.7%増)となりました。

また、特別利益に投資有価証券売却益3億2千5百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は10億4千8百万円(前連結会計年度比1,228.9%増)となりました。

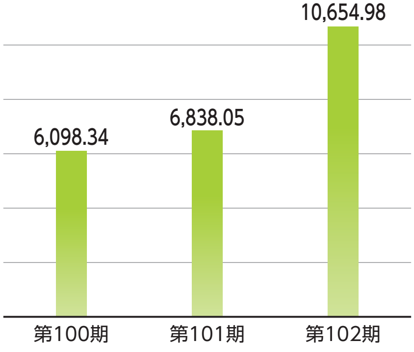
総資産・純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)



1株当たり純資産 (単位：円)



Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■機器装置事業

機器装置事業につきましては、ボイラー、ヒーター等の熱源機器やエアハンドリングユニット、ヒートポンプ式外気処理機等の空調機器の売上が旺盛な建設投資を背景に好調に推移しました。また、熱処理炉等のサーモデバイス機器は海外向け案件の売上が低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は73億4千1百万円(前連結会計年度比8.9%増)、受注高は73億1千6百万円(同比5.6%減)となりました。

■素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品は主要顧客の在庫調整が進んだことにより需要が増加し、売上が好調に推移しました。景観製品は東北地区を中心に橋梁用防護柵の売上が伸長しました。

その結果、当事業の売上高は22億5千5百万円(前連結会計年度比17.1%増)、受注高は22億6千7百万円(同比17.1%増)となりました。

■サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除を背景に需要が回復し、取替工事や有料サービスが好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は39億1千7百万円(前連結会計年度比16.1%増)、受注高は43億6千2百万円(同比26.3%増)となりました。

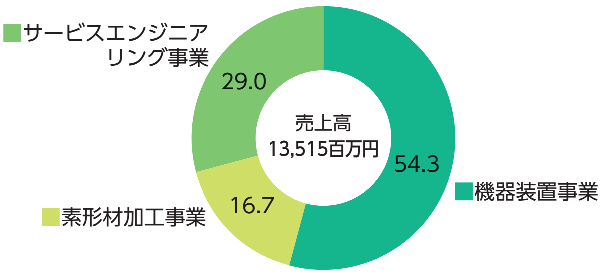
セグメント別の売上高・受注高

(単位:百万円)

	売上高	受注高
■機器装置事業	7,341	7,316
■素形材加工事業	2,255	2,267
■サービスエンジニアリング事業	3,917	4,362
合計	13,515	13,946

セグメント別の売上高構成比

(単位:%)



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は雇用・所得環境の改善や株高による資産効果等を背景に回復基調の持続が期待される一方で、物価の上昇やマイナス金利政策の解除等により景気が下振れするリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

2024年度は、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう！」の2年目の年として、引き続き重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し（データドリブン経営）」及び「組織風土改革と自律人財の育成（人財第一主義経営）」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に注力してまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第102期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、2023年10月に創業140周年を迎えたことを記念し、1株につき普通配当50円に特別配当50円及び創業140周年記念配当40円を加えた140円とさせていただきました。

Q 最後に株主の皆様にメッセージをお願いします。

これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全社共通の価値観であるミッション・ビジョン・バリューを実践し、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

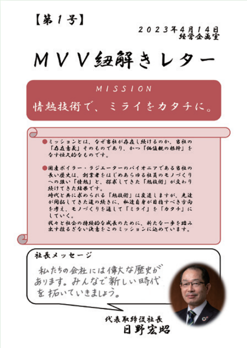
2023-2025 Revival Survival SHOWA

中期経営計画の進捗状況について

当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画『人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!』のもと、当社グループが新たな成長トレンドに向かうべく、これまで当社の長い歴史を支えてきたモノづくりへの想いと熱技術の探求へ原点回帰する一方で、直面する社会や環境の様々な課題に取り組み、持続的に成長する共存共栄の世界実現の一翼を担えるよう、重点課題に注力しています。

●取組事例1　MVV浸透プロジェクト

当社の社是である「誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする」を根幹に全社共通の価値観として再構築したミッション・ビジョン・バリュー（MVV）の浸透を図るため、経営企画室より毎月「MVV紐解きレター」を発信するほか、各所属で意見交換等を行い、自部門のMVVを作成しました。

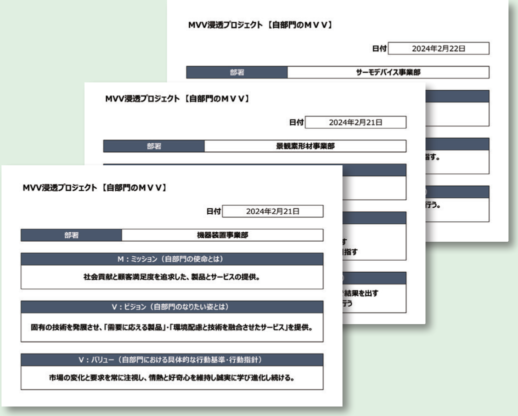

【第1号】 2023年4月14日 経営企画室

MVV紐解きレター

MISSION
情熱技術で、ミライをカタチに。

社長メッセージ
私たちの会社には偉大な歴史があります。みんなで新しい時代を拓いていきましょう。

代表取締役社長


MVV浸透プロジェクト【自部門のMVV】
日付 2024年2月22日
部署 サーモデバイス事業部

MVV浸透プロジェクト【自部門のMVV】
日付 2024年2月21日
部署 景観素形材事業部

MVV浸透プロジェクト【自部門のMVV】
日付 2024年2月21日
部署 機器装置事業部
M：ミッション（自部門の使命とは）
社会貢献と顧客満足度を追求した、製品とサービスの提供。
V：ビジョン（自部門のなりたい姿とは）
固有の技術を発展させ、「需要に応える製品」・「環境配慮と技術を融合させたサービス」を提供。
V：バリュー（自部門における具体的な行動基準・行動指針）
市場の変化と要求を常に注視し、情熱と好奇心を維持し誠実に学び進化し続ける。

●取組事例2　FA推進（新設備導入）

宇美工場にパンチレーザ複合加工機、古賀工場に縦型マシニングセンターを導入しました。

新設備導入を推進することで、作業の安全性向上に加え、工数の低減や業務の属人化を解消し、働き方改革にも繋げていきます。

パンチレーザ複合加工機

縦型マシニングセンター

■重点課題

【リバイバルSHOWA】

人財戦略と事業戦略が一貫した"強い昭和鉄工"の実現

①事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)　②組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)

【サバイバルSHOWA】

強い昭和鉄工が一翼を担う"持続的社会"の実現

①ライフサイクル型事業の推進　②サステナブル新商品の創出

●取組事例3　コンパクトエアハンのモデルチェンジ

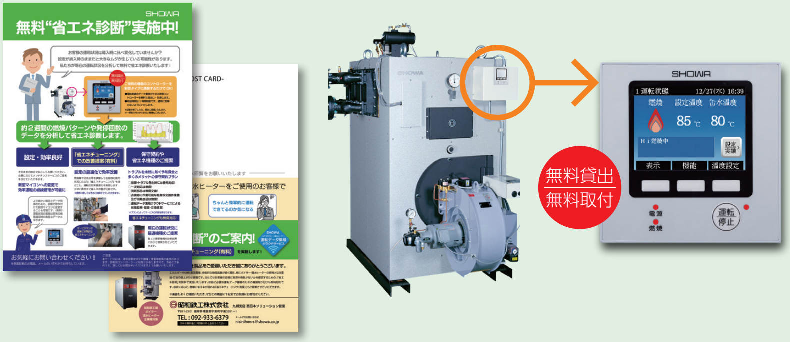
コンパクト型エアハンドリングユニットLOシリーズは、空調性能や制御面を大幅にブラッシュアップしつつ、薄型・コンパクト化を実現した新モデルです。

「スイングオープンドア」や「スライドアウトフィルター」など当社独自の機構を採用することで、作業者の負担軽減や時間短縮等のメンテナンス性も追求しました。

●取組事例4　省エネ診断・省エネチューニングの実施

過去の納入物件(熱源機器)を対象に、お客様の運転状況を分析する省エネ診断を行い、設定の最適化による効率改善や現在の運転状況に沿った最適な機種等を提案しています。

今後も顧客満足度向上に向けた継続的なフォロー提案を実施し、お客様に信頼され選ばれる会社を目指します。



連結財務データ

単位：百万円

連結貸借対照表

科目	当期 2024年3月31日現在	前期 2023年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	**10,033**	**8,639**
現金及び預金	3,243	2,351
受取手形	357	493
売掛金	2,240	1,940
契約資産	317	534
電子記録債権	1,721	1,096
商品及び製品	272	157
仕掛品	1,265	1,485
原材料及び貯蔵品	589	534
その他	28	48
貸倒引当金	△4	△3
固定資産	**9,922**	**6,995**
有形固定資産	**3,528**	**3,440**
建物及び構築物	955	1,006
機械装置及び運搬具	734	573
土地	1,584	1,584
リース資産	208	230
その他	46	46
無形固定資産	**74**	**61**
投資その他の資産	**6,319**	**3,493**
投資有価証券	6,124	3,449
繰延税金資産	3	1
その他	207	61
貸倒引当金	△15	△19
❶ **資産合計**	**19,956**	**15,635**

科目	当期 2024年3月31日現在	前期 2023年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	**8,015**	**7,202**
支払手形及び買掛金	796	849
電子記録債務	2,087	2,193
短期借入金	3,150	3,150
未払費用	726	445
未払法人税等	270	51
設備関係支払手形	105	25
契約負債	10	20
リース債務	42	45
その他	826	421
固定負債	**3,161**	**2,798**
長期借入金	225	325
退職給付に係る負債	1,388	1,518
繰延税金負債	1,108	471
リース債務	127	170
その他	312	312
❷ **負債合計**	**11,177**	**10,000**
（純資産の部）		
株主資本	**5,372**	**4,365**
資本金	**1,641**	**1,641**
資本剰余金	**1,226**	**1,226**
利益剰余金	**2,636**	**1,628**
自己株式	**△130**	**△130**
その他の包括利益累計額	**3,406**	**1,268**
その他有価証券評価差額金	**3,380**	**1,424**
退職給付に係る調整累計額	**25**	**△155**
❸ **純資産合計**	**8,779**	**5,634**
負債及び純資産合計	**19,956**	**15,635**

❶ 総資産

前期末に比べ43億2千1百万円増加し、199億5千6百万円となりました。主な要因は、現金及び預金8億9千2百万円、電子記録債権6億2千4百万円、投資有価証券26億7千4百万円が増加したものです。

❷ 負債

前期末に比べ11億7千6百万円増加し、111億7千7百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債6億3千6百万円が増加したものです。

❸ 純資産

前期末に比べ31億4千4百万円増加し、87億7千9百万円となりました。主な要因は、利益剰余金10億7百万円、その他有価証券評価差額金19億5千5百万円が増加したものです。

連結損益計算書

科目	当期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日	前期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日
❹売上高	13,515	12,042
売上原価	10,209	9,571
売上総利益	3,305	2,470
販売費及び一般管理費	2,643	2,533
❺営業損益	662	△63
営業外収益	218	187
営業外費用	48	67
❺経常利益	832	56
特別利益	325	51
税金等調整前当期純利益	1,157	108
法人税、住民税及び事業税	272	35
法人税等調整額	△163	△6
当期純利益	1,048	78
❺親会社株主に帰属する当期純利益	1,048	78

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日	前期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日
❻営業活動によるキャッシュ・フロー	797	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	281	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186	△186
現金及び現金同等物の増減額	892	△463
現金及び現金同等物の期首残高	2,351	2,814
現金及び現金同等物の期末残高	3,243	2,351

❹ 売上高

2023年度から2025年度までの3ヶ年における新中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」の初年度として、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。その結果、当期における当社グループの売上高は135億1千5百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

❺ 営業損益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の増加に加えて、原材料価格の高騰に対応した適正な売価の設定や製造工程の見直しによる原価低減等により、営業利益は6億6千2百万円(前年同期は営業損失6千3百万円)、経常利益は8億3千2百万円(前年同期比1,369.7%増)となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益3億2千5百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は10億4千8百万円(前年同期比1,228.9%増)となりました。

❻ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は7億9千7百万円(前年同期は2億5千6百万円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益11億5千7百万円による増加と、売上債権の増加額5億7千2百万円による減少です。

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	368名(連結373名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

(注)当社は、2023年11月30日付で鹿児島営業所を廃止し、2024年4月1日付で東北支店を新設いたしました。

役員 (2024年6月26日現在)

取締役・監査役

代表取締役	日野　宏昭
取締役	尾島　孝則
取締役	執行　貴洋
取締役	上野　俊幸
取締役	佐藤　仁俊
常勤監査役	伊達　正治
監査役	横田　浩二
監査役	本田　隆茂

執行役員

社長CEO	日野　宏昭
上級執行役員	尾島　孝則
上級執行役員	執行　貴洋
執行役員	名和　正之
執行役員	森　克郎
執行役員	都地　美生隆

株式の状況

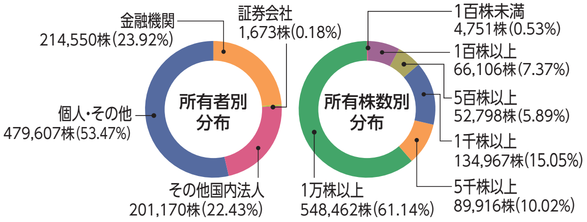
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	790名

大株主

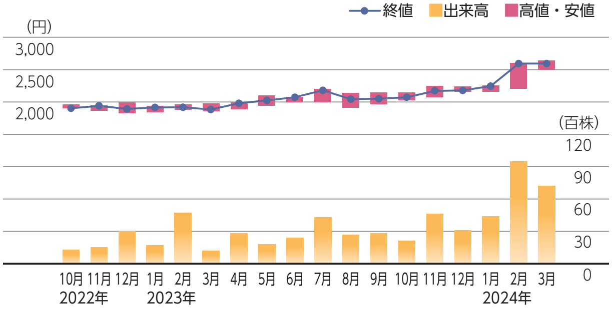
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.69
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.33
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.24
飯田卓子	25,061	3.04
飯田吉宣	23,988	2.91
渡辺秀一郎	22,200	2.69
稲田好美	19,813	2.40

(注)持株比率は、自己株式(73,063株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日　毎年3月31日 剰余金の配当の基準日　毎年3月31日 中間配当の基準日　毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （お問合せ先）	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

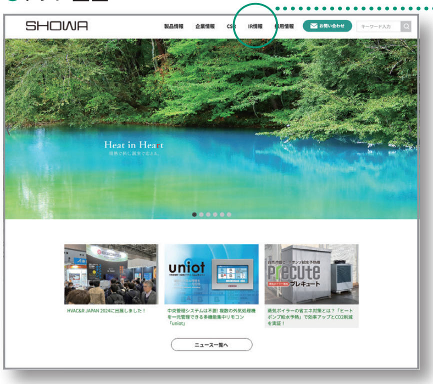
株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払い配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

https://www.showa.co.jp/

●トップ画面



●IR情報トップ画面

当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

昭和鉄工株式会社
〒811-2101　福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390（代表）

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。